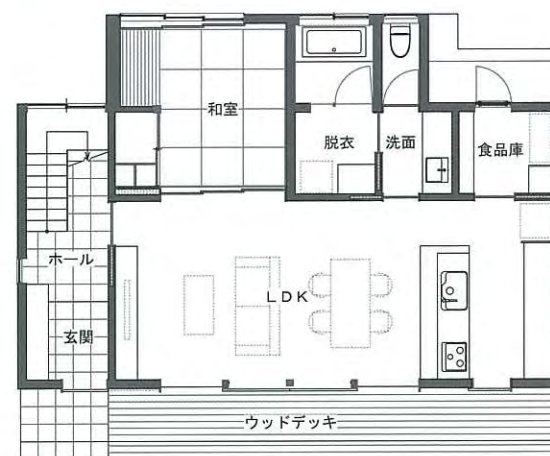


平面図



1F



2F



講評 REVIEW

敷地北側を流れる碓氷川と川沿いの竹林を借景とした閑静な場所に建つ開放的で伸びやかな住宅です。南側道路に面した、緑の芝生の広い前庭のなかに浮かぶ様に建つこの住宅は、養蚕農家の造りを思わせる深い軒と「せがい（出桁）」による木製のバルコニーをもち、1、2階共の広い開口部により明るく開放感あふれた姿を見せています。よく手入れのされた広い芝庭により、道路からの距離を取る事でプライバシーの確保と開放性を両立させています。平面は1階LDK、2階の居室全てが南に並び、水廻りや小部屋を北側に置くシンプルで使いやすい間取りとなっています。玄関を入った正面の階段越しの大開口に切り取られた竹林や、1階和室の開口部を低く抑える事で、リビングからは竹林により対岸の住宅が隠れるようにするなど、通風と共に視線を巧みに計算した開口部の計画がなされ、大きな軒による季節毎の日差しのコントロールと合わせ、冬暖かく夏涼しい、開放感と快適性を両立しています。

また、敷地を素直に読み解いた伸びやかな配置、外構計画は、住まい手の快適性とともに見事に伸びやかさを与え、周辺環境への十分な配慮がなされた素晴らしい『ぐんまの家』となっています。